

日本の文化に親しむ

源平の雅

令和元年十月十七日(木)

第一回目 午後十二時三十分開演(十二時開場)

第二回目 午後十六時三十分開演(十六時開場)

場所 / 大阪・日本橋 国立文楽劇場

大阪市中央区日本橋一丁目二一〇

入場料 / 八、〇〇〇円(全席指定)



松本幸四郎
中村鷹之資
市川九團次

中村梅 彌
尾上菊之丞
藤間勘十郎
浦田保 親
茂山逸 平

切符販売先 / 問い合わせ先

国立文楽劇場

電話 06(6212)2531

(公財)関西・大阪21世紀協会

上方文化芸能運営委員会

電話 06(6110)5245

FAX 06(6110)5246

主催 / (公財)関西・大阪21世紀協会

上方文化芸能運営委員会

協力 / 松竹株式会社

(株)アロープロモーション

源平の雅

構成・演出 藤間 勘十郎

一、半能 橋弁慶

京都五条橋に剣術の腕のたつ子供が現れると噂を聞いた武蔵坊弁慶は自ら五条橋に向かいます。そこに現れた稚児と戦いますが弁慶は敗れます。この稚児こそ鞍馬山の太天狗僧上坊より兵法の奥義を伝授された源義朝の子牛若丸、後の源義経でした。これより武蔵坊弁慶は牛若丸の家来となり生涯を共に送ることを誓います。能の名作を今回は後半の二人の戦いの場面を中心に半能として上演します。

武蔵坊弁慶 浦田 保 親

牛若丸 味方 慧

笛 杉 市 和

小鼓 吉阪 一 郎

大鼓 河村 大

後見 味方 團

大江 信 行

地謡 浦田 保 浩

味方 玄

深野 貴 彦

浦田 親 良

二、所作事 時鳥花有里

ほじとぎす はなにある さと

藤原の朝方の陰謀により兄源頼朝から追われの身となった源義経は家臣鷲尾三郎と龍田の里まで逃げ延びます。そこで白拍子、傀儡師二行に出会いますがその一行の正体は…。【義経千本桜】の古い台本に残っていたものを松岡亮補綴、藤間勘十郎振付により松本幸四郎が復活した作品を今回は素踊りで舞踊家による上演。平成の時代にできた千本桜の新しい道行です。

白拍子三芳野 中村 梅 彌

鷲の尾三郎義久 尾上 菊之丞

白拍子園原 花柳 まり草

白拍子帯木 若柳 杏 子

源九郎判官義経 中村 鷹之資

傀儡師良吉 藤間 勘十郎

実は龍田の明神

長唄 杵屋 勝之弥 社中

杵屋 勝七郎

三、長唄 船弁慶

堀川御所没落後津ノ国尼ヶ崎大物浦まできた義経を静御前が訪ねてきます。今の身の上では静を同道することは出来ないと思った義経は静に名残に舞を舞わせ別れを告げます。出船の時刻になり船長は船を出しますが、平家の一門を携えた新中納言平知盛の幽霊が現れ義経に立ち向かいます。しかし武蔵坊弁慶の法力により幽霊はいずくともなく消えていきます。歌舞伎の名作を今回は舞踊、狂言を交えて新しい演出で上演します。

静御前 松本 幸四郎

新中納言平知盛の霊 中村 鷹之資

武蔵坊弁慶 市川 九團次

舟長 茂山 逸 平

舟人浪藏 尾上 菊之丞

舟人岩作 藤間 勘十郎

鳴物 藤舎 呂 悦 社中

藤舎 貴 生